



Q
玉木ゆういち



人口減少と持続可能な県政について

知事の著書や「植福」の理念に触れつつ、人口減・流出が加速する中で、将来世代が希望を持てる鳥取を実現するための行財政運営や税収確保策を問う。経済成長・企業誘致・事業見直し・DX などによる財源捻出を提案。

A
答弁[知事]

「平和の道具」として県政に取り組んできたと述べ、人口減や都市集中の課題に対し、行財政改革・社会減 / 自然減対策・地域資源活用による持続可能な県づくりを進める考えを表明。スタートアップ支援やデジタル技術活用も推進中



Q
玉木ゆういち



学校給食の無償化と教育行政の課題

子育て世代の立場から給食費無償化を強く提言。現場視察を踏まえ、物価高による給食の質の低下と市町村格差を問題視し、まずは牛乳無償化(年間約5億円)から県が主導してはどうかと具体的提案。



A
答弁[教育長]

給食の意義や現場の努力に敬意を示しつつ、現時点での県主導の無償化は困難と回答。国主導による全国一律の制度整備が必要との立場で、引き続き国への要望を強める方針を示した。

A
答弁[知事]

給食費無償化は本来国が担うべきとし、市町村や現行制度の実情にも触れながら、安易な判断はできないと答弁。一方で、市町村との協議を進め、次年度予算編成に向けた検討を行う意向を示す。



総括

玉木議員は「シン・子育て王国とっとり」の理念実現に向け、将来世代への投資や地域格差是正のため、財源確保と政策推進の必要性を一貫して主張。

知事・教育長ともにその問題意識を共有しつつも、制度上の制約や財源課題に言及し、慎重に検討していく構えを見せた。



会派要望



① 給食費無償化の実現を強く要望

【県の回答】 国が「こども未来戦略方針」に基づき全国一律の学校給食費無償化制度を検討中であることから、県としては引き続き国に対し財政措置を要望する方針。

② 投票率向上に向けた「鳥取モデル」構築のための抜本的予算を要望

選挙のたびに低下する投票率を深刻に受け止め、主権者教育の強化や選挙制度改革(インターネット投票、被選挙権年齢引下げ等)を進めるよう提言

【県の回答】 小中学生向け教材作成など主権者教育を強化。さらに投票所の減少防止に向けオンライン立会の導入も開始。新規事業の遂行と検証の後、今後の対策を検討。

会派要望とは…議会前に知事に直接会って要望書を提出すること。